

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	2019年11月8日
【四半期会計期間】	第109期第2四半期（自 2019年7月1日 至 2019年9月30日）
【会社名】	藤倉化成株式会社
【英訳名】	FUJIKURA KASEI CO.,LTD.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 加藤 大輔
【本店の所在の場所】	東京都板橋区蓮根三丁目20番7号 （本店所在の場所は登記上の住所であり、実際上の本社業務は本社事務所で 行なっております。）
【電話番号】	該当事項はありません。
【事務連絡者氏名】	該当事項はありません。
【最寄りの連絡場所】	東京都港区芝公園二丁目6番15号黒龍芝公園ビル 藤倉化成株式会社本社事務所
【電話番号】	03（3436）1101(代表)
【事務連絡者氏名】	常務取締役 下田 善三
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号） 藤倉化成株式会社本社事務所 （東京都港区芝公園二丁目6番15号黒龍芝公園ビル）

（注） 上記の当社本社事務所は金融商品取引法の規定による縦覧場所ではありませんが株主等の便宜のため備え置きます。

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第108期 第2四半期連結 累計期間	第109期 第2四半期連結 累計期間	第108期
会計期間	自2018年 4月1日 至2018年 9月30日	自2019年 4月1日 至2019年 9月30日	自2018年 4月1日 至2019年 3月31日
売上高 (千円)	28,258,942	28,095,858	55,207,031
経常利益 (千円)	1,723,927	1,259,669	3,168,657
親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益 (千円)	1,090,903	852,460	2,032,610
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	583,539	547,898	1,416,822
純資産額 (千円)	35,609,658	36,314,478	36,158,476
総資産額 (千円)	52,308,602	51,893,911	51,940,015
1株当たり四半期(当期)純利益 (円)	34.27	26.78	63.86
自己資本比率 (%)	62.8	64.8	64.2
営業活動による キャッシュ・フロー (千円)	1,417,283	46,892	3,953,420
投資活動による キャッシュ・フロー (千円)	730,624	1,055,139	1,955,273
財務活動による キャッシュ・フロー (千円)	465,298	266,482	938,388
現金及び現金同等物の四半期末 (期末)残高 (千円)	11,920,492	11,316,532	12,769,063

回次	第108期 第2四半期連結 会計期間	第109期 第2四半期連結 会計期間
会計期間	自2018年7月1日 至2018年9月30日	自2019年7月1日 至2019年9月30日
1株当たり四半期純利益 (円)	15.68	13.16

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指数等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には消費税等は含まれておりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、または、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

2【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

(1) 経営成績の状況

当第2四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、雇用や所得環境の改善により緩やかな回復基調で推移いたしましたものの、海外における米中の通商摩擦や英国のEU離脱問題などがあり先行き不透明な情勢で推移いたしました。

当社グループの関連する業界におきましては、自動車産業につきましては、海外の自動車販売台数は低調に推移いたしました。国内における新車販売台数は前年を上回りました。また、住宅産業につきましては、新築住宅着工件数は前年同期を下回りました。エレクトロニクス産業はスマートフォン市場の成長鈍化などもあり厳しい市場環境となりました。

このような環境の下、当第2四半期連結累計期間の売上高は280億96百万円（前年同期比0.6%減）となり、営業利益は11億8百万円（同30.8%減）、経常利益は12億60百万円（同26.9%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は8億52百万円（同21.9%減）となりました。

各セグメントの経営成績は次のとおりであります。

コーティング

プラスチック用コーティング材（『レクラック』・『フジハード』など）を取扱うコーティング部門におきましては、主力の自動車向け分野において、国内市場の販売は前年並みに推移いたしました。海外での販売が低調に推移いたしました。

この結果、売上高は113億23百万円（同6.5%減）となり、営業利益は2億96百万円（同63.3%減）となりました。

塗料

建築用塗料を取扱う塗料部門におきましては、新製品の投入や消費増税前の駆け込み需要の影響もあり、新築住宅向け塗料、リフォーム用塗料ともに好調に推移いたしました。

この結果、売上高は74億32百万円（同15.2%増）となり、営業利益は6億14百万円（同40.1%増）となりました。

電子材料

導電性ペースト材（『ドータイト』）などを取扱う電子材料部門におきましては、国内市場、海外市場ともにほぼ前年並みの売上で推移いたしました。

この結果、売上高は14億35百万円（同0.5%減）となり、営業利益は70百万円（同41.2%増）となりました。

化成品

トナー用レジン、樹脂ベース（『アクリベース』）やメディカル材料などを取扱う化成品部門におきましては、粘着剤などの機能材料分野の需要が減少いたしました。メディカル材料につきましては、原料用ラテックスの販売は堅調に推移いたしました。診断薬の販売が低調に推移いたしました。

この結果、売上高は20億1百万円（同0.7%増）となり、営業利益は1億83百万円（同37.7%増）となりました。

合成樹脂

子会社藤光樹脂株式会社などが取扱うアクリル樹脂の原材料・加工品の販売におきましては、液晶テレビ向け商品の需要は減少いたしました。また、カーエレクトロニクス分野向け商品の販売も伸び悩んだこともあり、売上高は減少いたしました。

この結果、売上高は59億56百万円（同6.0%減）となり、営業損失は55百万円（前年同四半期は営業利益1億75百万円）となりました。

(2) 財政状態の状況

(資産・負債・純資産の状況)

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比べ46百万円（前連結会計年度末比0.1%）減少し、518億94百万円となりました。

流動資産

在庫の微増などの結果、前連結会計年度末と比べ14百万円（同0.0%）増加し、314億31百万円となりました。

固定資産

有形固定資産及び無形固定資産の減価償却の進行などの結果、前連結会計年度末と比べ60百万円（同0.3%）減少し、204億62百万円となりました。

流動負債

仕入債務の減少などの結果、前連結会計年度末と比べ2億94百万円（同2.3%）減少し、125億44百万円となりました。

固定負債

リース債務の増加などの結果、前連結会計年度末と比べ92百万円（同3.1%）増加し、30億36百万円となりました。

純資産

利益剰余金の増加などの結果、前連結会計年度末と比べ1億56百万円（同0.4%）増加し、363億14百万円となりました。

この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の64.2%から64.8%へと0.6ポイント増加となり、1株当たり純資産額は、前連結会計年度末より8円46銭増加し、1,056円85銭となりました。

(3) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ14億53百万円減少し、113億17百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益が12億60百万円であったものの、法人税等の支払が4億50百万円であったこと及び売上債権が増加したことなどにより、47百万円の支出（前年同四半期連結累計期間は14億17百万円の収入）となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による支出7億42百万円、無形固定資産の取得による支出20百万円などにより、10億55百万円の支出（前年同四半期連結累計期間は7億31百万円の支出）となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは、短期借入金の増加により1億25百万円の収入などがあったものの、配当金により2億55百万円の支出などがあったため、2億66百万円の支出（前年同四半期連結累計期間は4億65百万円の支出）となりました。

(4) 経営方針・経営戦略等

当第2四半期連結累計期間において、当社グループが定めている経営方針・経営戦略等について重要な変更はありません。

(5) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当社グループが対応すべき課題について重要な変更はありません。

(6) 研究開発活動

当第2四半期連結累計期間におけるグループ全体の研究開発活動の金額は、13億52百万円であります。

なお、当第2四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

3【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	84,000,000
計	84,000,000

【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末現在発行数(株) (2019年9月30日)	提出日現在発行数(株) (2019年11月8日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	32,716,878	32,716,878	東京証券取引所 市場第1部	単元株式数 100株
計	32,716,878	32,716,878	-	-

(2)【新株予約権等の状況】

【ストックオプション制度の内容】

該当事項はありません。

【その他の新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式総 数残高(株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増 減額(千円)	資本準備金残 高(千円)
2019年7月1日～ 2019年9月30日	-	32,716,878	-	5,352,121	-	5,039,624

(5) 【大株主の状況】

2019年9月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (百株)	発行済株式(自己 株式を除く。)の 総数に対する所有 株式数の割合 (%)
(株)フジクラ	東京都江東区木場一丁目5番1号	65,762	20.66
BBH FOR FIDELITY LOW-PRICED STOCK FUND (PRINCIPAL ALL SECTOR SUBPORTFOLIO) (常任代理人 (株)三菱UFJ銀行)	245 SUMMER STREET BOSTON, MA 02210 U.S.A. (東京都千代田区丸の内二丁目7番1号)	26,833	8.43
日本トラスティ・サービス信託銀行 (株)(信託口)	東京都中央区晴海一丁目8番11号	11,653	3.66
日本マスタートラスト信託銀行(信 託口)	東京都港区浜松町二丁目11番3号	11,524	3.62
BBH BOSTON FOR NOMURA JAPAN SMALLER CAPITALIZATION FUND 620065 (常任代理人 (株)みずほ銀行決済営 業部)	180 MAIDEN LANE, NEW YORK, NEW YORK 10038 U.S.A. (東京都港区港南二丁目15番1号)	10,487	3.29
藤倉コンポジット(株)	東京都江東区有明三丁目5番7号	6,065	1.90
極東貿易(株)	東京都千代田区大手町二丁目2番1号	5,840	1.83
(株)みずほ銀行	東京都千代田区大手町一丁目5番5号	5,500	1.72
GOVERNMENT OF NORWAY (常任代理人 シティバンク、エ ヌ・エイ東京支店)	BANKPLASSEN 2, 0107 OSLO 1 OSLO 0107 NO (東京都新宿区新宿六丁目27番30号)	5,309	1.66
日本トラスティ・サービス信託銀行 (株)(信託口5)	東京都中央区晴海一丁目8番11号	5,250	1.64
計	-	154,223	48.45

(注) 1. 上記のほか、自己株式が8,877百株あります。

2. 日本トラスティ・サービス信託銀行(株)(信託口)及び日本マスタートラスト信託銀行(株)(信託口)の所有株式数は、すべて信託業務に係るものです。
3. エフエムアール エルエルシーにより、2013年4月2日付けで大量保有報告書の変更報告書が提出され、2013年3月29日現在で以下のとおり株式を保有している旨の報告を受けておりますが、当社として当第2四半期会計期間末時点における実質所有状況の確認ができませんので、上記大株主の状況には含めておりません。

氏名又は名称	住所	保有株券等の数 (百株)	株券等保有 割合(%)
エフエムアール エルエルシー	米国 02210 マサチューセッツ州 ボストン、サマー・ストリート 245	32,716	10.00

3. 2019年7月3日付けで公衆の縦覧に供されている大量保有報告書の変更報告書において、野村アセットマネジメント㈱及びその共同保有者であるノムラ インターナショナル ピーエルシーが2019年6月28日現在でそれぞれ以下のとおり株式を保有している旨が記載されているものの、当社として当第2四半期会計期間末時点における実質所有状況の確認ができませんので、上記大株主の状況には含めておりません。

氏名又は名称	住所	保有株券等の数 (百株)	株券等保有 割合(%)
野村アセットマネジメント㈱	東京都中央区日本橋一丁目12番1号	29,449	9.00
ノムラ インターナショナル ピーエルシー	英国 ロンドン EC4R 3AB、エン ジェル レーン 1	1,367	0.42

(6) 【議決権の状況】

【発行済株式】

2019年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 887,700	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 31,824,800	318,248	-
単元未満株式	普通株式 4,378	-	-
発行済株式総数	32,716,878	-	-
総株主の議決権	-	318,248	-

(注) 1. 「完全議決権株式(その他)」の欄には、証券保管振替機構名義の株式が1,000株(議決権の数10個)含まれております。

2. 「完全議決権株式(自己株式等)」の欄はすべて当社保有の自己株式です。

【自己株式等】

2019年9月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数(株)	他人名義所有株式数(株)	所有株式数の合計(株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
藤倉化成㈱	東京都板橋区蓮根三丁目20番7号	887,700	-	887,700	2.71
計	-	887,700	-	887,700	2.71

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（2007年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間（2019年7月1日から2019年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（2019年4月1日から2019年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、EY新日本有限責任監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】

(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	14,098,715	12,830,047
受取手形及び売掛金	11,047,343	12,243,618
商品及び製品	3,560,597	3,548,829
仕掛品	81,990	95,372
原材料及び貯蔵品	2,042,549	2,051,127
その他	709,035	778,566
貸倒引当金	123,097	116,091
流動資産合計	31,417,132	31,431,468
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	11,650,978	11,651,079
減価償却累計額	6,345,144	6,509,572
建物及び構築物(純額)	5,305,834	5,141,507
機械装置及び運搬具	13,627,760	13,734,691
減価償却累計額	11,274,224	11,425,205
機械装置及び運搬具(純額)	2,353,536	2,309,486
工具、器具及び備品	4,795,511	4,849,195
減価償却累計額	3,815,260	3,946,757
工具、器具及び備品(純額)	980,251	902,438
土地	4,532,259	4,520,739
リース資産	289,700	579,571
減価償却累計額	191,154	224,374
リース資産(純額)	98,546	355,197
建設仮勘定	191,162	361,187
有形固定資産合計	13,461,588	13,590,554
無形固定資産		
ソフトウェア	273,752	246,399
その他	1,031,561	977,931
無形固定資産合計	1,305,313	1,224,330
投資その他の資産		
投資有価証券	2,418,283	2,441,747
長期貸付金	24,554	74,054
繰延税金資産	627,923	675,084
その他	3,123,643	2,895,445
貸倒引当金	438,421	438,771
投資その他の資産合計	5,755,982	5,647,559
固定資産合計	20,522,883	20,462,443
資産合計	51,940,015	51,893,911

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,022,381	6,859,509
短期借入金	2,623,230	2,697,330
未払法人税等	402,400	356,957
未払費用	1,084,538	891,555
賞与引当金	576,871	589,666
リース債務	45,246	84,877
その他	1,083,179	1,063,733
流動負債合計	12,837,845	12,543,627
固定負債		
繰延税金負債	105,643	102,472
退職給付に係る負債	2,383,537	2,381,965
長期未払金	125,998	120,771
リース債務	54,499	150,866
その他	274,017	279,732
固定負債合計	2,943,694	3,035,806
負債合計	15,781,539	15,579,433
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,352,121	5,352,121
資本剰余金	5,040,199	5,040,199
利益剰余金	22,590,889	23,188,716
自己株式	524,976	524,976
株主資本合計	32,458,233	33,056,060
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	372,825	361,120
為替換算調整勘定	843,794	543,536
退職給付に係る調整累計額	305,370	322,056
その他の包括利益累計額合計	911,249	582,600
非支配株主持分	2,788,994	2,675,818
純資産合計	36,158,476	36,314,478
負債純資産合計	51,940,015	51,893,911

(2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
売上高	28,258,942	28,095,858
売上原価	19,869,224	20,126,039
売上総利益	8,389,718	7,969,819
販売費及び一般管理費	6,788,512	6,862,146
営業利益	1,601,206	1,107,673
営業外収益		
受取利息	25,245	35,990
受取配当金	27,321	97,876
固定資産賃貸料	34,505	36,461
持分法による投資利益	52,772	30,572
その他	50,431	49,360
営業外収益合計	190,274	250,259
営業外費用		
支払利息	18,391	27,555
為替差損	23,132	53,743
その他	26,030	16,965
営業外費用合計	67,553	98,263
経常利益	1,723,927	1,259,669
税金等調整前四半期純利益	1,723,927	1,259,669
法人税、住民税及び事業税	472,317	403,381
法人税等調整額	19,340	38,976
法人税等合計	491,657	364,405
四半期純利益	1,232,270	895,264
非支配株主に帰属する四半期純利益	141,367	42,804
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,090,903	852,460

【四半期連結包括利益計算書】
 【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
四半期純利益	1,232,270	895,264
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	95,007	11,712
為替換算調整勘定	524,529	297,523
退職給付に係る調整額	24,869	16,686
持分法適用会社に対する持分相当額	54,064	21,445
その他の包括利益合計	648,731	347,366
四半期包括利益	583,539	547,898
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	509,678	523,811
非支配株主に係る四半期包括利益	73,861	24,087

(3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,723,927	1,259,669
減価償却費	781,543	743,113
退職給付に係る負債の増減額(は減少)	39,869	17,123
賞与引当金の増減額(は減少)	69,310	13,927
貸倒引当金の増減額(は減少)	94,757	3,940
受取利息及び受取配当金	52,566	133,866
支払利息	18,391	27,555
売上債権の増減額(は増加)	387,734	1,286,705
たな卸資産の増減額(は増加)	125,478	91,069
その他の流動資産の増減額(は増加)	20,356	12,591
仕入債務の増減額(は減少)	164,742	111,772
その他の流動負債の増減額(は減少)	55,506	2,974
その他	175,121	101,124
小計	1,806,526	289,048
利息及び配当金の受取額	73,048	152,729
利息の支払額	19,462	39,445
法人税等の支払額	463,998	449,946
法人税等の還付額	21,169	722
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,417,283	46,892
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	1,094,395	1,473,650
定期預金の払戻による収入	923,745	1,209,698
有形固定資産の取得による支出	524,361	741,521
無形固定資産の取得による支出	55,016	19,742
投資有価証券の取得による支出	2,879	3,059
その他	22,282	26,865
投資活動によるキャッシュ・フロー	730,624	1,055,139
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(は減少)	126,506	124,574
社債の償還による支出	250,000	-
リース債務の返済による支出	25,342	44,078
自己株式の取得による支出	2	-
配当金の支払額	254,633	254,633
非支配株主への配当金の支払額	61,827	92,345
財務活動によるキャッシュ・フロー	465,298	266,482
現金及び現金同等物に係る換算差額	91,694	84,018
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	129,667	1,452,531
現金及び現金同等物の期首残高	11,790,825	12,769,063
現金及び現金同等物の四半期末残高	11,920,492	11,316,532

【注記事項】

(会計方針の変更)

国際財務報告基準(IFRS)を適用している在外連結子会社において、第1四半期連結会計期間の期首からIFRS第16号「リース」を適用し、借手の会計処理として原則すべてのリースについて四半期連結貸借対照表に資産及び負債として計上しております。当該会計基準の適用にあたっては、経過的な取扱いに従って、リース債務は、適用開始日現在の借手の追加借入利率を用いて割り引いた現在価値で測定しており、使用権資産はリース債務と同額を計上する方法を採用しております。

なお、当該会計基準の適用が当第2四半期連結財務諸表に及ぼす影響は軽微であります。

(四半期連結貸借対照表関係)

1 保証債務

連結会社以外の会社の金融機関等からの借入に対し、債務保証を行っております。

	前連結会計年度 (2019年3月31日)		当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
東北藤光株	80,000千円	東北藤光株	80,000千円

2 受取手形裏書譲渡高

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
受取手形裏書譲渡高	35,095千円	33,403千円

(四半期連結損益計算書関係)

販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
荷役運送費	452,961千円	475,254千円
貸倒引当金繰入額	90,809	1,422
従業員給与手当	1,525,070	1,590,869
賞与引当金繰入額	333,049	295,680
退職給付費用	205,138	202,296
研究開発費	1,330,939	1,352,247
減価償却費	292,281	252,931

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は下記のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
現金及び預金勘定	13,024,087千円	12,830,047千円
預入期間が3か月を越える定期預金	1,103,595	1,576,275
流動資産のその他	-	62,760
現金及び現金同等物	11,920,492	11,316,532

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)

1. 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2018年6月28日 定時株主総会	普通株式	254,633	8	2018年3月31日	2018年6月29日	利益剰余金

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間末
後となるもの

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2018年11月9日 取締役会	普通株式	254,633	8	2018年9月30日	2018年12月4日	利益剰余金

当第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

1. 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2019年6月27日 定時株主総会	普通株式	254,633	8	2019年3月31日	2019年6月28日	利益剰余金

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間末
後となるもの

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2019年11月8日 取締役会	普通株式	254,633	8	2019年9月30日	2019年12月3日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	コーティング	塗料	電子材料	化成品	合成樹脂	計
売上高						
外部顧客への売上高	12,110,174	6,450,963	1,421,693	1,986,197	6,289,915	28,258,942
セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	20,832	170	45,714	66,716
計	12,110,174	6,450,963	1,442,525	1,986,367	6,335,629	28,325,658
セグメント利益	806,234	438,202	49,270	132,684	174,941	1,601,331

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,601,331
セグメント間取引消去	125
四半期連結損益計算書の営業利益	1,601,206

当第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	コーティング	塗料	電子材料	化成品	合成樹脂	計
売上高						
外部顧客への売上高	11,322,696	7,431,655	1,435,244	2,000,812	5,905,451	28,095,858
セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	-	107	50,145	50,252
計	11,322,696	7,431,655	1,435,244	2,000,919	5,955,596	28,146,110
セグメント利益又は損失()	295,961	613,851	69,592	182,704	54,710	1,107,398

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,107,398
セグメント間取引消去	275
四半期連結損益計算書の営業利益	1,107,673

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
1株当たり四半期純利益	34円27銭	26円78銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益(千円)	1,090,903	852,460
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る親会社株主に帰属する四半期純利益(千円)	1,090,903	852,460
普通株式の期中平均株式数(株)	31,829,167	31,829,164

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

2019年11月8日開催の取締役会において、当期中間配当に関し、次のとおり決議いたしました。

(イ) 中間配当による配当金の総額..... 254,633 千円

(ロ) 1株当たりの金額..... 8 円

(ハ) 支払請求の効力発生日及び支払開始日..... 2019年12月3日

(注) 2019年9月30日現在の株主名簿に記載又は記録された株主に対し、支払いを行います。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

2019年11月8日

藤倉化成株式会社
取締役会 御中

EY新日本有限責任監査法人

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 米村 仁志 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 表 晃靖 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている藤倉化成株式会社の2019年4月1日から2020年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（2019年7月1日から2019年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（2019年4月1日から2019年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、藤倉化成株式会社及び連結子会社の2019年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が保管しております。

2. XBR Lデータは四半期レビューの対象には含まれていません。